

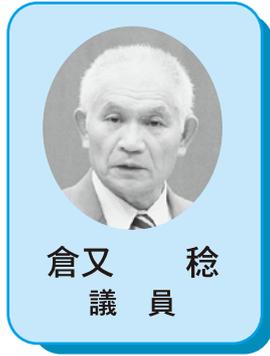


五十嵐健一郎
議員

市政運営の主要施策の
検証と対策について伺
います。

質
問

(1)企画課・海外戦略室の設置
など組織機構改革及び民間



倉又 稔
議員

補助金について

質
問

個々の補助金について具体
的な見直しはどのように行わ
れてきたか。また、補助金の
可否はどこで決しているのか。

の活用

(2) 地域おこし協力隊の受け入
れによる地域活性化の取り
組み

(3) 国の「地方創生」に対する
市としての考え方と新たな
取り組み

(4) 市民協働定住促進体制づく
りと市職員の意識改革

(5) 新エネルギー導入支援事業
と雪室の設置・海中貯蔵の
利活用

(6) ジオパークプラスアルファ
の新たな目玉となる広域観
光開発とストーリー性の創
出

(7) 大学・高校等との連携によ

市長答弁

補助金の見直しについては、

行政改革大綱・実施計画にお
いて「補助金・負担金等の適
正化と整理、再編」を推進項
目の一つとして位置づけ、見
直し方針に基づき、補助金全
般にわたる見直しを進めると
ともに、全市的な制度の統一
を図ってきた。個々の補助金
については、総合計画実施計
画や予算編成作業を通じて、
必要性や妥当性などについて
見直しを行うとともに、予算
執行時においても補助額の妥
当性などについて確認、見直
しを行っている。

る研究成果と対策

(8) シティプロモーション戦略
の推進と、アプリを使った
イベント告知

市長答弁

(1) 当市における重要課題に対
応するため、組織機構の見
直し検討を進めている。ま
た、事務事業の効率的な推
進を図るため、さらなる民
間活用についても検討して
いく。

(2) 平成27年度から、地域活性
化策に取り組む地区に配置
したいと考えている。

(3) 市としても「人口ビジョン」
と「総合戦略」を策定して
いきたいと考えている。

補助金の可否については、

補助金交付申請の内容を精査
するとともに、必要によりヒ
アリングを行い、対象事業の
必要性や公益性などについて
審査を行い、その可否を決定
している。

いじめ防止対策の第三者
委員会設置について

質
問

当市におけるいじめの実態
について、いじめの重大事態

(3) 市としても「人口ビジョン」
と「総合戦略」を策定して
いきたいと考えている。

(4) 庁内の連携を図りながら、
各部署が移住・定住の視点
を持って事業を推進してい
く。

(5) 新エネルギーの可能性調査
を行っており、雪室につい
ては、上早川地区の利用組
合に対し支援していく。

(6) 新幹線の活用とジオパーク
のストーリー性で演出する
ことにより、新たな魅力の
ある広域観光商品の開発を
進めていく。

(7) 富山大学及び新潟大学が、
当市を対象に行う医療分野
での臨床研究への支援を行
い、その臨床研究結果が市
の健診や保健対策等に生か
されている。

(8) ジオパーク戦略プロジェクトを
推進する中で、当市の
知名度の向上につなげてい
く。また、現在のアプリに
はイベント告知の機能はな
いが、様々なメディアを通
じて情報発信していきたい
と考えている。

の調査のため、第三者委員会
を設置したことは適切な措置
と考えるが、すでに設置され
ている第三者委員会の、委員
の選任基準、開催状況、教育
委員会とのかかわり、調査報
告等について伺う。

教育長答弁

委員は、主に人権、法律、
教育及び青少年の健全育成に
見識を有する第三者から選任
しており、開催状況について
は、委員会を2回、調査を5
回行っている。

教育委員会は公平・中立を
期すため、調査そのものには
関与せず、第三者委員会が主
体的に調査を行っており、調
査結果は、いじめを受けた児
童生徒及びその保護者に対し
て提供する。

